

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木克宗

事業名 一般国道354号 大泉邑楽バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 群馬県
起終点 自：大泉町北小泉 至：邑楽町篠塚	延長 4.85km	
事業概要 一般国道354号大泉邑楽バイパスは、高崎市栄町を起点とし、板倉町板倉に至る「東毛広域幹線道路」の一部区間であり、現道354号の交通渋滞解消と沿線市街地の生活環境改善を目的とした道路改築事業である。		
H8年度事業化	S52年度都市計画決定 (H10年度変更)	H8年度用地着手
全体事業費 102億円		事業進捗率 29%
計画交通量 12,800台/日		供用済延長 1.4km
費用対効果分析結果	総費用 ：(事業費)/(事業全体) 56 / 93 億円 (事業費：52 / 90億円) (維持管理費：4 / 4億円)	総便益 ：(事業費)/(事業全体) 324 / 324億円 (走行時間短縮便益：303/303億円) (走行費用減少便益：5/5 億円) (交通事故減少便益：16/16 億円)
B/C (事業全体) 3.5 (事業費) 5.8		基準年 平成17年
事業の効果等 円滑なモビリティの確保（現道等の年間渋滞損失時間及び削減率） 国土・地域ネットワークの構築（都市間を最短時間で連絡する路線を構成する。）他6項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 大泉邑楽バイパスは、東毛広域幹線道路の一部であり、伊勢崎市をはじめとする関係市町村で構成する広域幹線道路建設促進連絡協議会より早期整備の要望（平成17年8月4日）を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 事業着手後においても、現道付近の渋滞は解消されていない。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 現道拡幅部については、平成17年度末に全線4車線拡幅化する予定であり、渋滞緩和が期待される。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 現道拡幅が終了し、バイパス部に事業着手した。バイパス部についても地元の協力を得ながら、引き続いて事業を促進し、事業効果の早期発現を図る。		
施設の構造や工法の変更等 二次製品や再生材（アスファルト、碎石）を積極的に利用し、コスト縮減に取り組んでいく。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。